



福岡医発第 2731 号 (地)

平成 28 年 1 月 18 日

各医師会長 殿

福岡県医師会

会長 松田 峻一良

(公印省略)

NBCR 対策推進機構 第 2 回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」
の開催について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今般、特定非営利活動法人 NBCR 対策推進機構より、第 2 回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」の周知依頼が日本医師会を通じ、別添の通り参りました。

生物テロや新興感染症への対処は困難であることから、生物テロ対処には、関連情報を収集・評価し、物的・人的措置を講じ、教育・訓練を行い、標的化を防止して適切な対応力を養成しておくことが重要であり、最新の情報・経験を踏まえて、新興・再興感染症やテロを含む生物テロ災害対策等を見直し、各種の厳しい現実を想定した訓練・講習をする必要とされております。今回講習会では韓国での中東呼吸器症候群 (MERS : コロナウイルス) への対応について講義が行われる予定です。講習修了時には、認定試験が行われ、「生物テロ・バイオ災害危機管理者認定カード (1 級)」が同機構により発行、認証されます。

なお、本講習会には、日本医師会の石井常任理事が総合討議の座長として参画される予定となっております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに、貴会会員へご周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

【NBCR 対策推進機構 第 2 回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」】

- ・ 日 時 平成 28 年 3 月 20 日 (日) 9 : 00 ~ 17 : 00
- ・ 会 場 主婦会館プラザエフ (東京都千代田区六番町 15 番地)
- ・ 対 象 救命医師・産業医・病院等医療危機管理担当者・保健所職員 等
- ・ 申込方法 添付の申込用紙 (付紙 2) にて、F A X でお申込みください。
FAX : 03-5829-6197
- ・ 受付締切 平成 28 年 2 月 26 日 (金) ただし、定員 (90 名) になり次第締切。
- ・ 費 用 3 万円
- ・ プログラム 別紙参照

小郡三井医師会より

救急災害医療担当理事 吉武靖博
感染症対策担当理事 田中泰之
会長 廣瀬真恵

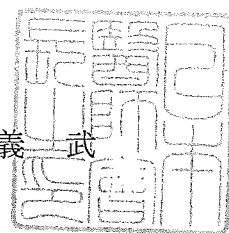
日医発第 942 号 (地 I 262)

平成 28 年 1 月 12 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

横 倉 義 一 武



NBCR対策推進機構 第2回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」
の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、NBCR対策推進機構による第2回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会―(救命・救急医、産業医及び生物テロ対策担当者が知っておくべきこと―韓国 MERSから学ぶ生物剤テロ対処―)」が開催されることとなりました。

本講習会には、本会より石井正三常任理事が総合討議の座長として参画する予定をしております。

講習会の開催日および締切日は、下記のとおりです。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了解いただくとともに、貴会災害医療担当者等への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

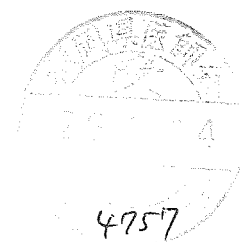
第2回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」

開催日：平成28年 3月20日(日) 9:00～17:00

締切日：平成28年 2月26日(金) 定員：先着順90名 費用：3万円

場 所：主婦会館プラザエフ

東京都千代田区六番町 15 番地



27NBCRD 第 42 号
平成 27 年 12 月 18 日

公益社団法人 日本医師会
会長 横倉 義武 殿

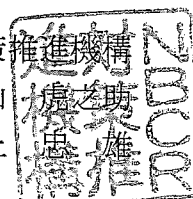
第 2 回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」の
開催のご案内（周知依頼）

謹啓 師走の候 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
この度、弊機構は平成 27 年度事業の一環として、第 2 回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」（救命・救急医、産業医及び生物テロ対策担当者が知っておくべきこと - 韓国 MERS から学ぶ生物剤テロ対処 - ）を別添のとおり計画しております。

つきましては、本講習会の開催について、都道府県医師会への周知をお願い申し上げます。

謹 白

特定非営利活動法人 NBCR 対策推進機構
参議院議員 会長 片山 虎之助
理事長 井 上 忠雄



連絡先：NPO 法人 NBCR 対策推進機構
担当者：副理事長兼事務局長 加藤高明
住 所：〒111-0053 東京都台東区浅草橋 2-7-9 大森ビル 2F
電 話：03-5829-6187 FAX 03-5829-6197
E-mail：nbc-rnp@tea.ocn.ne.jp
URL：<http://www.nbc-r-taisaku.com>

第2回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」

(救命・救急医、産業医及び生物テロ対策担当者が知っておくべきこと)

－韓国 MERS から学ぶ生物剤テロ対処－

(1 級認定コース・日医生涯教育制度 5 単位認定 (申請中))

開講のご案内

2015 年 11 月 13 日パリ同時多発テロ事件では 130 人以上が死亡し、「イスラム国(IS)」が関与を主張する声明を発表しました。フランスのバルス首相が国民議会(下院)で「化学テロや生物テロの危険性がある」と述べるなど、全世界でテロの脅威は一段と高まっています。2016 年(平成 28 年)伊勢志摩サミット、2020 年(平成 32 年)の東京オリンピックに備えて、NBCR テロ災害への対応が急務とされています。特に、対応が最も困難である生物剤等による生物テロ災害対策の重要性が改めて認識されております。

この度、弊機構は事業の一環として、一昨年 12 月に実施致しました「生物テロ・バイオ災害対策担当者講習会(1 級認定書付与)」に引き続き、別紙のとおり第 2 回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」(救命・救急医、産業医及び生物テロ対策担当者が知っておくべきこと)－韓国 MERS から学ぶ生物剤テロ対処－を開講することと致しました。

中東呼吸器症候群(MERS: コロナウイルス)は、2015 年 6 月韓国全土で 154 人が発症し 19 人が死亡した猛威を振いました。MERS はサウジアラビア 1,026 人を除き、欧米各国でも 1~4 人の発症であり、韓国のアウトブレイクが際立ちました。何故韓国でアウトブレイクが発生したのか、またどのような対策で感染拡大を収束させたのか、延世大学救急学講座 教授 李 康賢 先生(韓国救急学会長)に解説をして頂きます。講義のあと、出来るだけ多くの出席者と「生物テロ対処のあり方」について総合討論を実施したいと考えております。

今回の講習会も、新しい視点から日本の第 1 人者として活躍中の新進の講師を迎え、生物テロ災害対処に真に役立つ危機管理コース(生物テロ・バイオ災害危機管理者 1 級認定)を開催させていただきます。

なお、今回の講習会も日本医師会・東京都医師会の認可を得て、日本医師会生涯教育制度の認定をして頂くことになり、5 単位の認定を行います(申請中)。

ご多忙中の折柄誠に恐縮に存じますが、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

平成 27 年 12 月吉日

NPO 法人 NBCR 対策推進機構

会 長 片山 虎之助

理事長 井上 忠雄

NPO法人 NBCR対策推進機構

第2回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」について

(救急・救命医・産業医及び生物テロ対策担当者が知っておくべきこと)

—韓国 MERS から学ぶ生物剤テロ対処— (1 級認定コース・日医生涯教育制度 5 単位認定 (申請中))

主催 NPO法人 NBCR対策推進機構

後援 公益社団法人 日本医師会 (株)ノルメカエイシア

■ 趣旨

2015 年は、アフリカ・エボラ出血熱、また隣国韓国における中東呼吸器症候群 (MERS : コロナウイルス) の感染拡大で大変心配された年でした。11 月 13 日パリ同時多発テロ事件では 130 人以上が死亡し、「イスラム国 (IS)」が関与を主張する声明を発表しました。フランスのバルス首相が国民議会 (下院) で「化学テロや生物テロの危険性がある」と述べるなど、全世界でテロの脅威は一段と高まっています。2016 年 (平成 28 年) 伊勢志摩サミット、2020 年 (平成 32 年) の東京オリンピックに備えて、NBCR テロ災害への対応が急務とされています。特に、対応が最も困難である生物剤等による生物テロ災害対策の重要性が改めて認識されています。

生物テロや新興感染症への対処は困難ですが、生物テロ対処には関連情報を収集・評価し、物的・人的措置を講じ、教育・訓練を行い、標的化を防止して適切な対応力を養成しておくことが重要です。最新の情報・経験を踏まえて、新興・再興感染症やテロを含む生物テロ災害対策等を見直し、各種の厳しい現実を想定した訓練・講習を実施する必要があります。

今回の講習会で、韓国ソウルの延世大学救急学講座教授 李 康賢 先生 (韓国救急学会会長) を招聘し、韓国での中東呼吸器症候群 (MERS : コロナウイルス) への対応を講義していただきます。この韓国での MERS の教訓から、我が国の「生物テロ災害対策」がより実践的な対処可能になるように学びたいと考えております。

今回も、新しい視点からの現在日本の第 1 人者としてご活躍中の新進の講師を迎え第 2 回「生物テロやバイオ災害対策担当者養成講習会」を下記の通り開催いたします。今回の講習会は実践的な生物テロ・バイオ災害対処に特化した第 1 級の危機管理コースです。今回も日本医師会・東京都医師会の許可をえて、日本医師会生涯教育制度に基づき 5 単位の認定です。

■ 講習対象者

救命・救命医師、産業医、病院等医療危機管理担当者、保健所職員、消防関係職員、企業危機管理担当者、自治体危機管理関係者、その他講習研修を更新の希望者

■ 認定カード発行

講習修了時認定試験を行い「生物テロ・バイオ災害危機管理者認定カード (1 級)」を発行し当機構での認証を行います。

■ 講習期間

	日 時	受付締切	定員
期 間	平成 28 年 3 月 20 日 (日曜) 0900~1700	2 月 26 日 (金)	90 名

■ 細部

※生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会カリキュラム

付紙 1

※申込: 「申込書」により FAX でお申込み下さい。

申込書: 付紙 2

※場所 (一財) 主婦会館プラザエフ (JR 四ッ谷駅徒歩 1 分) 講習会場案内図: 付紙 2

(〒102-0085 東京都千代田区六番街 15 番地 (Tel03-3265-8111))

※ 締切: 先着定員になり次第申込を締め切ります。

※ 順延: 最小催し人員数 30 名以下の場合は延期し順延の通知を致します。

※ 費用: 3 万円 (個人正会員: 2 万円、団体会員: 1, 5 万円)

連絡先: 付紙 2

■カリキュラム

日	時 間	科 目	講 師
28 年 3 月 20 日	0900～0910	※オリエンテーション	弊機構理事長 工学博士 井上忠雄
	0910～0950	1、生物剤テロ対処の総論 —救急災害医療関係者等が知っておくべきこと	国際医療福祉大学教授、塩谷病院検査部長（元国立感染症研究所長） 倉田毅先生
	0950～0955	休 憩	
	0955～1035	2、感染症法と国内・海外バイオテロ対策 —救急災害医療関係者等が知っておくべきこと	国立保健医療科学院健康危機管理 研究部長 金谷 泰宏 先生
	1035～1040	休憩	
	1040～1130	3、 院内感染制御からの生物剤テロ対処 —救急災害医療関係者等が知っておくべきこと	河北総合病院 感染制御チーム長 藤井 達也先生
	1130 ～ 1135	休 憩	
	1135～1225	4、新興感染症からみた生物テロ対策 —救急災害医療関係者等が知っておくべきこと	国立感染症研究所 ウイルス第一部長 西条政幸 先生
	1225～1320	休 憩（昼食）	
	1320～1410	5、 生物テロ対策・訓練 —救急災害医療関係者等が知っておくべきこと	社団法人元気会横浜病院長 箱崎幸也 先生
	1410～1415	休 憩	
	1415～1515	6、 韓国でのMERSアウトブレイク （感染初期から収束までの）	延世大学救急学講座 教授 李 康賢 先生
	1515～1520	休 憩	
	1520～1630	7、 総合討議：韓国MERSアウトブレイクから学ぶ生物テロ対策	座長：日本医師会 常任理事（災害担当）石井 正三先生 李 康賢 先生 箱崎 幸也先生 西条 政幸先生 藤井 達也先生
	1630～1635	休 憩	
	1635～1655	8、 ※試験	
	1655～1700	※危機管理者認定証付与（生物テロ・バイオ災害危機管理者1級）	

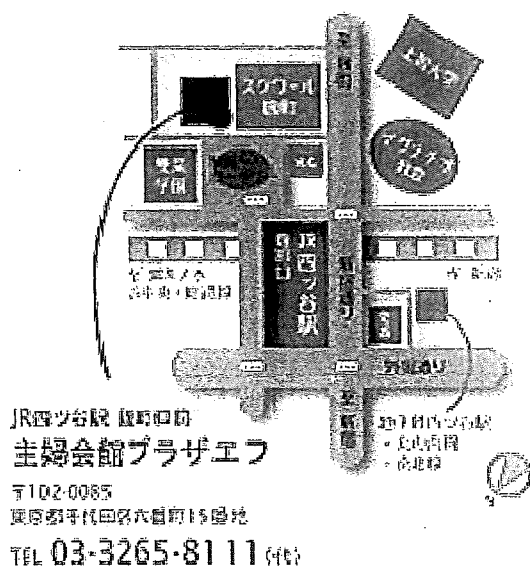
**第2回 生物テロ・バイオ災害対策担当者養成
講習会申込書**

申込締切	平成28年2月26日(金)			先着順90名		
申込先 FAX	03-5829-6197					
申込者(団体等)名						
参加者氏名 (ふりがな)	氏 名		所 属		職 名	
所在地	〒					
連絡先	電話番号：			FAX 番号：		
	e-mail：					
会員の場合 ○印明記下さい	個人正会員			団体会員		

講習会場案内図

(一財) 主婦会館プラザエフ (JR 四ッ谷駅徒歩1分)

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 番地 (Tel03-3265-8111)



●連絡先：NBCR 対策推進機構 〒111-0053 東京都台東区浅草橋 2-7-9 大森ビル2階
電話：03-829-6187 FAX：03-5829-6197

e-mail: nbc-rnp@tea.ocn.ne.jp

担当： 副理事長 榎谷 惟光、又は執行役員；平川寿夫